

普及現地情報



発信年月日:令和7年(2025年)9月25日

所 属 名:甲賀農産普及課

番 号:C25008

発 信 者 名:竹荬、近藤、今村

滋賀県茶業コンクール荒茶品評会が開催されました

「近江の茶」の生産振興と品質向上を目的に、9月4日、甲賀市土山開発センターにおいて、令和7年度滋賀県茶業コンクール第50回荒茶品評会が開催され、当課はその審査と運営補助にあたりました。

今回は第50回の節目の品評会となりましたが、一番茶の収量が少なかった等の影響で、せん茶の部には甲賀市から58点、日野町から3点の計61点、かぶせ茶の部には甲賀市から54点、日野町から2点の計56点と、少数精鋭の争いとなりました。

本年は、春先の一番茶芽生育期の気温が低く、新芽の生育が緩慢になったため、芽数不足等で収量減になったものの、摘採適期が例年より長く続いたため、出品された茶は秀品が多く揃っていました。13名の審査員により、味や香りに重点を置いた審査が行われ、せん茶の部ではうま味と渋味の調和がとれて濃厚感があり、爽快感のある香りに優れたものが上位を占めました。また、かぶせ茶の部ではかぶせ茶らしい覆いの風味(海苔のような風味)とうま味があり、鮮やかな濃緑色の外観を持つものが上位を占めました。全体を通じて気候変動に対応してきた生産者の技術力の高さと苦労がうかがえました。

審査の結果、せん茶の部では甲賀市信楽町の武田達生さんが、かぶせ茶の部では同じく甲賀市信楽町の洞重則さんがそれぞれ1等1席を獲得され、11月20日に陶芸の森で開催される滋賀県茶振興大会において表彰されることとなりました。

当課は、今後も滋賀県茶業の生産技術の向上に向け、関係機関とともに本大会を支援していきます。

